

現行の健康保険証廃止の延期を求める意見書について

現行の健康保険証廃止の延期を求めることに関して、別紙のとおり意見書案を提出する。

令和6年6月21日

旭川市議会
議長 福 居 秀 雄 様

提出者 旭川市議会議員

中 村 みなこ
小 林 ゆうき
植 木 だいすけ
塩 尻 英 明
まじま 隆 英
江 川 あ や
高 橋 紀 博
高 木 ひろたか
石 川 厚 子
能登谷 繁
品 田 ときえ
高 見 一 典

現行の健康保険証廃止の延期を求める意見書

マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ、いわゆるマイナ保険証の普及のため、２０２４年１２月２日に現行の健康保険証の新規発行を終了することが決まった。

しかし、マイナンバーカードを巡っては現在、問題が続出しており、とりわけマイナ保険証に関して、医療機関の窓口で無効と判断されて医療費の１０割が請求された事例や他人の情報がカードにひも付けられていた事例が判明するなど、国民の健康や生命に重大な影響を及ぼすおそれのある深刻な問題が顕在化している。

さらに、被保険者や医療現場からも懸念の声が上がるなど、国民の不安も解消されないままに現行の健康保険証の廃止が決定され、国民皆保険制度の根幹が揺らごうとしている。

よって、政府においては、マイナ保険証に対する被保険者や医療現場の不安が払拭されるまで、現行の健康保険証の廃止を延期するよう要望する。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

旭 川 市 議 会